

●第 31 回通常総会第 2 回理事会開催 8 月 29 日(金) 里山の会事務所にて開催

来年 2026 年に特定非営利活動法人やましろ里山の会が、1996 年に発足して結成 30 周年を迎えます。その前の年で前半が過ぎました。通常の活動の展開は順調にすすめられ順調に進められています。懸念の木津川希少植物調査管理業務も木津川市加茂地域(1~2 日程度の作業)になりました。財政も赤字とはならずに進進し、事業参加者も昨年並みの水準です。こうした中で第 2 回理事会を開き、記念集会や会員減少からの脱却などについて深め合いたいと思いますので、理事諸氏は万難を排してご出席をお願いいたします。

●昆虫標本製作会開かれる 8 月 21 日(木)

この 30 年余りに木津川の生育植物が 917 種であることなどを明らかにしてきました。その中で実現できなかったのが京田辺市普賢寺の昆虫観察の標本に取組めなかったことです。その取組を 8 月 21 日に金田さんと中学生の中沢君と吉村君が実施し、里山農園で開催した夜の昆虫観察会(7 月 26 日)で採取した昆虫を標本箱に綺麗に収める事が出来ました。これまでその必要性が昆虫観察会のたびに強調されて、オオムラサキやホソオチョウ、クワガタムシや蛍を採取してきましたが標本製作までは到達できなかったのです。今回中沢君と吉村君の熱心な取り組みで素晴らしい成果が上げられました。木津川の植物標本 917 種と共に大きな調査証拠物として輝いていくことでしょう。両君の健闘を支えてゆきましょう。

**●RAC アシスタントリーダー講習会の連絡あり 河川協力団体として参加を**

この夏も多くの水難事故が発生しています。川や海、それにプールなどでも発生しております。施設管理者がおられても事故が起きています。経験豊かで十分な指導者が不足しているのではないのでしょうか。そこで国交省からアシスタントリーダー講習会の開催をすると連絡をいただきました。これは事故防止の初めの一步として、基本中の基本を学ぶ機会でありますので、子どもたちと共に川での取り組みを計画していくために理解しておくことなどの基礎を理解できるチャンスです。こうした専門から教える機会は今まで行われ来なかったもので、9 月 28 日(日)と 10 月 1 日(水)の予定ですが、9 月末は「いきものフェス」があるので、里山の会としては 10 月 1 日の参加を考えています。このチャンスにぜひご参加をいただきたいと思います。

●第 28 回里山講演会開催近づく 9 月 6 日(土) 京田辺市中部住民センター(せせらぎ 草内)

講師で会員の小林氏は同志社大学の京田辺市のキャンパスで学んでいた頃、里山の会の仲間たちと自然観察や地域の歴史などの興味ある活動に取り組みながら校内の竹や地域の竹藪に関心を持ち、卒業後はさらに京都大学院で東南アジアを訪ね、卒業後は日本全国の竹林をより多くの活動団体と一緒に研究を重ねておられます。ここに到達するまでの小学生頃には恩師の指導が大きな影響を受けられたとお聞きしております。この頃に得た自然環境からの体験などが今の段階ですごく生かされているのではないのでしょうか。この辺りを学びあえればと思います。現在の子どものさんたちの生活は電子機器にとっぷり使ったもので多くの知識を得ていますが、絵や写真を見たり読んだりの単純な視覚での知識だと思います。自然を訪ね見たり触ったりした中から学ぶことが大切ではないのでしょうか。この辺りをお話されと思います。ぜひ子育て中の保護者の方々に

学んでいただければと考えております。9月になっても暑い気温が続くようですがぜひお越しになってください。ご来場をお待ちしています。

●里山農園 ゴマダラチョウの幼虫発見 8月26日(火)

農園10号地のハンノキの脇にある小さなエノキでゴマダラチョウの幼虫が見つかり、以前オオムラサキの幼虫も見せたポーズを撮影できました。4匹がいたのですが5令と2令だったようです。また万願寺トウガラシの葉っぱでヤマムユが静かに動いているのを発見しました。網で捕獲を試みましたが一瞬の素早い動きを見せて逃げられてしまいました。農園の豊かな自然の姿を示してくれた農園の作業日でした。中学生の吉村君と太田さん、金田さん、森島さん、播川さん達が立ち会いました。



●木津川での魚とり 総参加者は50人の予想です。



城陽市教育委員会から「キッズスポーツ☆チャレンジ(で遊ぼう!学ぼう!)」の講師依頼があり9月13日玉水浜で実施します。昨年は増水の時期と重なり心配しましたが、水位が下がり無事に実施できました。通路の草刈りにも手間がかかりましたが、当日はオイカワやカワヨシノボリなど、そしてブルーギルなどの外来魚もたくさん獲れました。後半には川流れを体験できました。お父さんやお母さんが進んで協力してくださいましたので、すごく楽しい取組になりました。



●子どもカヌー体験開催します。案内は8月中旬にホームページに載せますが、募集は9月1日からです。

こんな感想文をいただきました。

はじめてカヌーに乗りました。小4の娘は一人乗りだったのでできるのか心配しましたが、転覆もせず一人でどんどん漕いでいく姿に頼もしさを感じました。景色も美しく、貴重な体験ができました。途中で酔ってしまい、早めに帰岸しましたが皆様、やさしく気をかけていただき嬉しかったです。ありがとうございました。(母45)

参加者募集 初心者歓迎

子どもカヌー体験

参加者の感想文ではほとんどの方はうまく進む事が出来た。うまく教えてくれたので安心しましたなどと感想を述べておられます。来年も参加したいとかまた来ますという子供たちが圧倒的です。わずかな時間の体験ですが、素晴らしい観劇や感動を与えてくれる取り組みで、短時間の募集期間で満杯になってしまいます。前の社長さんの進さんはとことん木津川を愛し、カヌーは誰でも操船できるものに、そして軽く持ち運び出来て普及することを願って笠置で京都大学の高木公三郎教授と改良に改良を重ねてこられました。そして木津川の笠置を遊びカヌーの発祥の地とされ、松本旅館の協力を得て東海道自然歩道のそばに記念碑を2013年に建立されました。藤田進さんは川面から眺める景色は平和で心が落ち着きよろしいですよといつも語っておられました。参加した子供たちもきっと同じ感覚を味わってくれていると思います。用意できる最大のご協力を藤田カヌーさんをお願いして取り組めますが里山の会一番の人気のイベントですので週刊ニュースをご覧になって申し込みをお願いいたします。

9月15日(月)祝日 9:30~12:30

募集人数 一人乗りカヌー 23艇=23人(子ども優先) 二人乗りカヌー 3艇=6人
参加協力金 子ども(洋楽4年生以上)3000円 大人=3500円 当日受付で支払の事
集合時間 厳守の事 打合せ・諸注意・操船指導など教習を受けられない場合は乗船拒否



特定非営利活動法人 やましろ里山 事務所 京都府京田辺市田辺原15
電話 0774-64-4183 メール fddbw257@yahoo.co.jp